

令和 2 事業年度

決算報告書

【第17期】

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

国立大学法人 お茶の水女子大学

令和2年度 決算報告書

国立大学法人 お茶の水女子大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	4,809	4,886	77	(注1)
施設整備費補助金	1,005	982	△ 22	(注2)
補助金等収入	225	268	43	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	34	13	(注4)
自己収入	1,923	2,843	920	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,801	1,641	△ 159	(注5)
雑収入	122	1,202	1,079	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	816	825	9	(注7)
目的積立金取崩	-	12	12	(注8)
計	8,799	9,853	1,054	
支 出				
業務費	6,787	6,539	△ 247	
教育研究経費	6,787	6,539	△ 247	(注9)
施設整備費	1,026	1,016	△ 9	(注10)
補助金等	170	214	44	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	816	695	△ 120	(注12)
計	8,799	8,465	△ 332	
収入 - 支出	-	1,387	1,387	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、追加配分及び前年度からの繰越金により、予算額に比して決算額が77百万円増額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算策定時に見込んでいた工事総額の減少により、予算額に比して決算額が22百万円減額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、授業料等減免費交付金が49百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。また、受入額の増加により、予算額に比して決算額が43百万円増額となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、受入額の増加により、予算額に比して決算額が13百万円増額となっています。
- (注5) 授業料及び入学金及び検定料については、受入額の減少により、予算額に比して決算額が159百万円減額となっています。
- (注6) 雑収入については、定期借地権設定契約に係る前受金収入があったことにより、予算額に比して決算額が1079百万円増額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入については、受託研究の受入額の減少により、予算額に比して決算額が16百万円減額となっています。寄附金収入等については、寄附の獲得に努めたことにより、予算額に対して決算額が25百万円増額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、情報基盤設備事業等による取崩しにより、予算額に比して決算額が12百万円増額となっています。
- (注9) 新型コロナウイルスが流行し、事業が停滞したことにより、予算額に比して決算額が247百万円減額となっています。
- (注10) 注2に示した理由により予算額に比して決算額が9百万円減額となっています。
- (注11) 注3に示した理由及び繰越額が増加したことにより予算額に比して決算額が44百万円増額となっています。
- (注12) 繰越額が増加したことにより予算額に比して決算額が120百万円減額となっています。

